

2018 年春、赤浜地区の高台に移転し、開所いたしました。

研究実験棟には、海洋研究をサポートするための設備・機器を整備しています。

天井画のあるエントランスホール・ギャラリーなど、誰もが自由に出入りできるスペースもあります。

当日はささやかながらイベントも開催します。ぜひお越しください。

東京大学大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター

施設見学会

International Coastal Research Center

2018

7・21 (土)

9:00-16:00

参加費無料



講演

10:30 - 11:00 福岡拓也・大土直哉

「三陸の浦島太郎はヒッチハイカー!?」

～ウミガメとウミガメに住み込むカニの話～

11:00 - 11:30 早川 淳

「“磯”ってなに? ～磯ラーメンと岩礁生態系の多様性～」

イベント

「海のスープの味わい方」14:00 - 15:30 定員20名程度 先着順

案内役 大小島 真木 (現代アート作家)



「風船でかわいいお魚を作ろう!」 所要時間 20分程度

1回目 9:00 - 10:00 バルーン教室

2回目 13:00 - 14:00 グリーティングとバルーン教室

3回目 15:30 - 16:00 グリーティング

案内役 須原 三加 (バルーンアーティスト)

11:30 ~

バルーン・リリース※

開所をお祝いして大空にたくさんの風船を飛ばします

※ どなたでもご参加いただけます

※ 天然素材の風船を使用し、環境に十分配慮しています

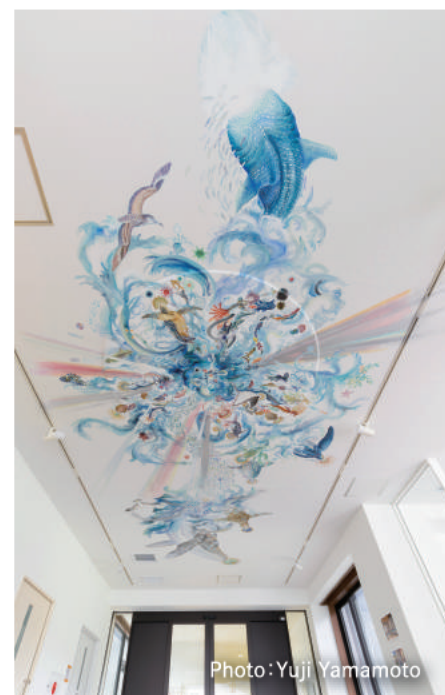


Photo: Yuji Yamamoto

エントランスホール天井画

大小島 真木 作

「Archipelago of Life 生命のアーキペラゴ」



東京大学大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター

岩手県大槌町赤浜1-19-8 問い合わせ TEL:0193-42-5611(FAX:5612)

*2018年2月19日より新住所となりました。電話番号・FAX番号は移転前と同じです

14:00 - 15:30

定員20名程度 先着順

「海のスープの味わい方」

案内役 大小島 真木

新設された研究センターのエントランスには、芸術家として活躍する大小島 真木さんが描いた天井画があります。今回のイベントでは、大小島さんが天井画を描いた時のエピソードや、これまで世界中を旅しながら巡り合ってきた世界の不思議な出来事の話をして頂きます。天井画を通して海に触れることにより、科学とは異なる視点から、私たちと自然の繋がりについて考え、そこで感じたことを書き残すワークショップを開催します。一緒に海のスープを味わってみませんか？

現代アート作家 大小島 真木 (おおこじま まき)

2011年 女子美術大学大学院 美術専攻 修士課程修了

主な賞にトーキョーワンダーウォール賞(09年)、VOCA奨励賞(14年)。近年の主な展示に「鳥よ、僕の骨で大地の歌を鳴らして」(第一生命ギャラリー)、「絵と言葉のまじわりが物語のはじまり」(太田市美術館・図書館)、「万物の祈り、大地の血管」(府中市美術館公開制作)、「アグロス・アートプロジェクト 明日の収穫」(青森県立美術館/17年より継続中)など。

その他、アニエス・ペー主催による海洋探査船タラ号のプロジェクトへの参加や、多摩六都科学館プラネタリウム全天88星座の原画制作、南沢氷川神社への天井画奉納など多方面で活動。



Photo: Yuji Yamamoto

開所をお祝いして大空にたくさんの風船を飛ばします



11:30 ~
バルーン・リリース※

※ どなたでもご参加いただけます

※ 天然素材の風船を使用し、環境に十分配慮しています



「アオウミガメと泳ぐ海」
大気海洋研究所 一般公開 2016

バルーンアート体験教室

所要時間 20分程度

「風船でかわいいお魚を作ろう!」

案内役 須原 三加

丸い風船や細長い風船を使って、40 cmほどの大きさのお魚を作ります。

完成した作品はお持ち帰りいただけます。身近な風船もアイデア次第で色々な形を作ることができます。

バルーンアートの世界を体験してみませんか。

※就学前のお子様には親御様のサポートをお願いいたします

- 1回目 9:00 - 10:00 バルーン教室
- 2回目 13:00 - 14:00 グリーティングとバルーン教室
- 3回目 15:30 - 16:00 グリーティング

グリーティング: 目の前で作品を作ってプレゼントします



バルーンアーティスト 須原 三加 (すはら みか)

2011年 東京大学大学院農学生命科学研究科 水圏生物科学専攻 修士課程修了

研究テーマは「カタクティワシの繁殖特性の海域間比較」

修了後、国立研究開発法人中央水産研究所にて研究支援職員としてマイワシの生態学的研究を続けるかたわら、東京でバルーン装飾専門サービスのLoved up Balloons (ラブドアップバルーンズ)を立ち上げて代表を務める。大気海洋研究所の一般公開では、過去6年にわたり5m以上の大規模なバルーンオブジェを毎年制作し話題を呼んでいる。